

【必読】はじめに（非表示に設定しています。）

◆ 本スライドは、Template として利用しているものである。

- タイトルの下に下線があるスライド，ないスライドを主としている。できる限り，効果的に使い分けるように意識すること。
- 必要ない，使わないスライドは，随時削除/非表示に設定すること。非表示設定は，提出時に削除する。

◆ スマートフォンやタブレット端末でのスライドの作成は，一切認めない。

◆ 原稿は，ノートに書き発表者ツールを用いて発表すること。スマホや紙の原稿を丸読みする行為は，極力控えること。

◆ 文字の書式設定は，タイトルが MS Gothic, 44 pt の太字，説明が MS Gothic, 54 pt の標準字（太字や斜体ではない），URL が Courier New, 14 pt の標準字に設定している。

- タイトルは入りきらなかった場合のみ，1 pt ずつ小さくしギリギリ入り切るところまでにすること。
- 説明の文字は，自由に移動や大きさの変更をしても良い。ただし，斜体や文字の効果の利用は控えること。
- 強調の際の文字色に関しては，cyan か orange の 2 色にし，それ以外は利用しないこと（色盲の方への配慮）。
- 背景に写真を入れる場合には，文字色は black か white にし，見やすい方を適応すること。
- URLは参考文献と写真を挿入した場合の出典を必ず記す。ない場合は，テキストボックスを削除すること。

◆ スライドやフォントは，設定されたもの以外利用しないこと（互換性の問題）。

◆ 画像の拡張子は，ラスタ形式：JPG（JPEG），PNG，GIF，ベクタ形式：SVG を利用すること。

◆ その他，守るべき項目を次に列挙する。

- 1 section – 1 message
1 つのセクションで伝えたいことは，1 つに絞ること。たくさん詰め込むと，本来の伝えたいことが曖昧になり，意図や本質が伝わらなくなる。
- 1 slide – 30% contents
1 つのスライドに，30% の内容しか載せないこと。発表においてスライドは，口頭説明を模式的に表現したものであり，補助的なものである。スライドだけで完成してしまうのであれば，わざわざ発表するまでもないだろう。
- Divide and conquer
説明と図はできるだけスライドごとに分けること。説明していない内容が目に入るだけで，内容が複雑化し理解が追い付かなくなる場合が多々ある。そのため，アニメーションやスライドを分けたりして，今話しているところを明確化する必要がある。